



伊達政宗公騎馬像

今に残る政宗が遺した文化



塩竈市、多賀城市、松島町とともに、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」に認定された仙台市は、東北地方最大の都市。大都市ながら青葉山や広瀬川などの自然が身近で、ケヤキ並木を代表とする街路樹も美しく、「社の都」と呼ばれています。8月の七夕祭りは、東北を代表するお祭りのひとつです。

日

本の源流再発見

File



宮城県仙台市

政宗公が育んだ文化が薫る、緑あふれる百万都市

仙台といえば、青葉城（仙台北城址）を思い浮かべる方も多いでしょう。市中心部からほど近いところにあるこの小高い山が、伊達政宗公が居城を構えた場所です。東側には市内を流れる広瀬川を望む断崖があり、西側には深い山林（御裏林）、南側には溪谷と、自



仙台北城脇櫓

然の地形を利用した天然の要塞となっています。残念ながら現在居城は残っていませんが、本丸の大広間跡には礎石を並べた遺構が整備されており、当時の面影を偲ぶことができます。また、御裏林は江戸時代に伐採や立ち入りが管理されていたこともあって、都市近郊としては極めて貴重な自然林が残っています。現在は国の天然記念物「青葉山」に指定され、東北大学植物園として管理・公開されています。

本丸大広間跡の近くにあるのが、伊達政宗公騎馬像。ここは、仙台市内が一望できるビュースポットになっていま



仙台市博物館

す。戦時中の金属供出により一度は撤去されましたが、戦後保存されていた原型から铸造され、1964年から現在の地に設置されています。ちなみに、1567（永禄10）年生まれの政宗公は、今年がちょうど生誕450年。市内のあちこちに生誕450年を祝うペナントが掲げ



▲ 定禅寺通のケヤキ並木

駅前の青葉通、東北大学構内など仙台には美しい並木道がたくさんありますが、中でも定禅寺通の4列に並ぶケヤキ並木は圧巻です



▲ 仙臺筆筒歴史工芸館

仙台市中心部のユメノ家具本店の4階にあり、昔の筆筒から、古い筆筒のリメイク品、新しい仙臺筆筒まで展示しています



▲ 仙台市博物館

日本遺産の登録文化財である瑞鳳殿(ずいほうでん)発掘資料の金製ブローチや鉛筆など、政宗の愛用品が展示されています



▲ 仙台市縄文の森広場

「山田上ノ台遺跡」で発見された縄文時代の集落跡を保存、復元・活用しています。縄文時代の生活を体験するイベントも多数開催されます

られ、2018年3月までゆかりの地でさまざまな関連行事が行われます。

広瀬川右岸にある三の丸跡には仙台市博物館があります。ここには、黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用)、仙台藩歴代藩主所用陣羽織、支倉常長像・ローマ市公民権証書といった慶長遣欧使節関係資料など、日本遺産の登録文化財が数多く收藏されています。

日本遺産には、政宗公が築き上げた文化が庶民に広まり現在まで残る芸能や祭礼、伝統工芸品も数多く指定されています。その一つ仙臺筆筒を見ることができるのが、仙臺筆筒歴史工芸

館です。仙臺筆筒は「武士型筆筒」とも呼ばれ、その特徴は、壮麗な鉄金具。神棚や仏壇の下など人が集まる場所に仕込み筆筒として用いられることも多く、海外に輸出されたこともあり、非常に精緻かつ巨大な金具が筆筒を飾ることになったとか。仙台文化の奥深さを感じさせてくれる展示でした。

ココに注目

「づんだ餅」と染め抜かれた鮮やかな若草色ののれんが目印。1877(明治10)年創業の村上屋餅店の「づんだ餅」は、お餅も餡も絶品。



日立グループ事業所紹介

今回訪れた仙台市には日立システムズが復興支援を目的にネーミングライツを取得している日立システムズホール仙台があります。コンサートホールや会議室、和室などを有する複合施設として市民に親しまれています。

日立システムズホール仙台 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
http://www.sendaiycc.jp/

